

新大広報

Public Relations Magazine of Niigata University

2018年冬号 No.209



[特集]

にいがた冬講座

新大ふしぎ発見

第一食堂にある煙突

Interview!! 自分の居場所

— 学生編 —
— OB・OG編 —

教えて!あなたの ゼミ・研究室

工学部 工学科 建築学プログラム

チャレポ!!

(Challenge & Report)

合気道部

ひとりdeli

野菜たっぷり味噌煮込みうどん

真の強さを学ぶ。

 新潟大学

特集

にいがた

冬、講座

今回の特集では、新潟の冬について解説していきます！昨冬は記録的な大雪に見舞われ、たいへんな思いをした方も少なくないはず。新潟はどうして天気が悪いの？雪はどのくらい降るの？今年の冬への備えは？新大生の冬の楽しみ方は？などなど、みなさんが気になることをご紹介します。

まずは、新潟の気象について、理学部大気海洋システム研究室※の本田明治教授にお話を伺いました。



本田 明治教授
ホンダ メイジ

新潟の昨年の大雪は約20年の北海道生活でも経験がないほどだったが、大雪は大歓迎。

自然科学系 地球・生物科学系列 所属
北海道大学大学院 理学研究科 博士後期課程1996年12月修了

※大気海洋システム研究室 気象学、海洋物理学、雪氷学に基づいて、気候システムのメカニズムの解明を目指す研究室。対象地域は北極・ユーラシア・南米から日本海・新潟まで、研究対象は大気海洋大循環・雪氷圏変動から高低気圧・豪雨豪雪・竜巻突風まで幅広く取り扱っています。これらについて観測・データ解析をはじめ理論・数値シミュレーションといった多様な研究手法を用いることにより、グローバル・ローカル双方の視点から、様々な気象海洋の現象の謎に取り組んでいます。
HP <http://env.sc.niigata-u.ac.jp/~naos/index.html>

新潟は気象のデパート

新潟は1年を通して多彩な気象が観測されます。晴れ、雨、雪、曇りはもちろん、突風、竜巻、雷まで。1日の中でもたくさんの気象が現れます。



新潟の天気はバラエティ豊かな品揃え！



新潟市内では長靴を履くべし

新潟の冬は例年12月上旬からちらほらと雪が観測されはじめ、雨または雪の日が多くなります。新潟大学付近では0~5℃の日が続きます。湿った重い雪が降り、すぐ溶けてしまうことが多いです。本田先生によると「瀕死の雪」と言うそうです。そのため、雪が降った日のキャンパス内を歩くには長靴が一番！



先生も何本も傘を壊されたそう…
傘を持っていても使わない日が多いんだとか

新潟は

気象がすべて揃う!?

冬に雷が多いのは世界でも珍しい

日本海側は冬に雷が多いことも特徴の一つ！お隣の県の群馬県前橋市では夏に雷が多いのに対し、新潟では12月~2月にかけて雷がよく観測されます。世界でも3カ所ほどなんだとか！世界的に見ても珍しいなんて誇らしい(?)ですね。



今後の天気の予想は難しい…

昨冬のようにこの冬も大雪になるのでしょうか？気になる点ではありますが、この冬はもちろん今後の予想は難しいそうです。長い目で見ると温暖化により降水量は減るとのことでした。しかし今年の冬も油断はできないようです。



今年の冬はどんな冬になるのかなあ



冬はシベリアからの冷たく乾いた風が流れ込み日本海上空で湿気を含んだ雲となります。これが山にぶつかって大量の雪を降らせませす。上空の寒気が寒さを左右するので。新潟は寒気がやってくる最前線にあるのです。



日本海側

NIIGATA

太平洋側

日本海側の冷気は山を越える際に湿気が少なくなり、乾いた風となるため晴れの日が多くなります。

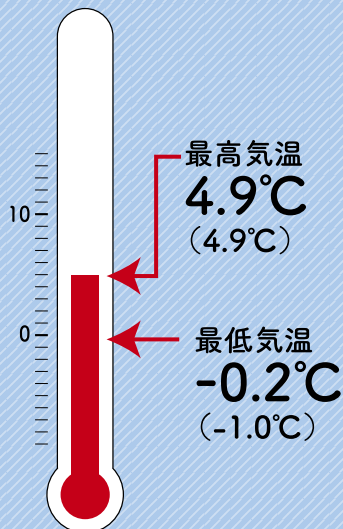
データで見る新潟市の冬

1981～2010年1月の平均値 (カッコ内は2018年1月)

気象庁HP参照

降水量
186.0mm
(206.0mm)
※東京52.3mm

合計降雪量
91cm
(160cm)



雪かきのコツ

- 1 準備運動をしっかりと
- 2 腕だけではなく足と腰の力も使う!
雪を持ち上げるときは、体全体を使いましょう。
- 3 雪をサイコロ状に切り出すと楽ちん!

雪が
積もったら

昨年の大雪

昨冬はセンター試験前日に80cmも雪が…! 車が埋まってしまうほどの大雪でした。多くの人が目の前の大雪に大パニック! 雪かき道具がなくてフライパンで雪かきしたという人も。

雪道では

- 小さな歩幅で歩く
- 靴の裏全体をつけて
ペンギン歩き
- 急がない焦らない



コラム

初 めて新潟で冬を過ごす方は、きっと天気的气まぐれさに驚いたでしょう。朝は太陽がでて晴れていたのに、夕方になると雨が降っている…なんてことはよくあります。せっかく洗濯物を外に干していたのに残念なことになったことはありませんか? また、強風と冷たい雨で傘を買ったのにすぐに折れることも**あるある**です。その壊れた傘、まさか大学のゴミ箱へ入れてはいませんか? 新潟市では傘は**燃やさないごみ**に分類されます。指定の袋に入れて出しましょう。

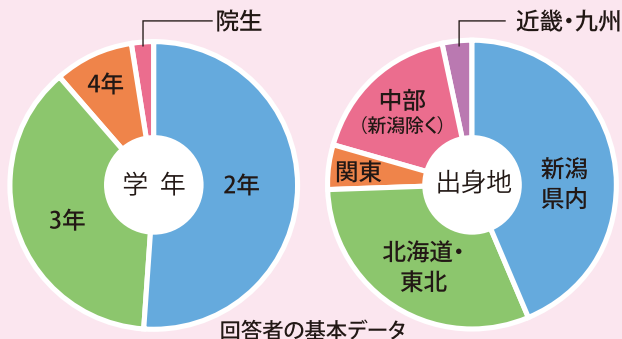
分 単位で天気がコロコロ変わり、新潟に住んで1、2年経つとすっかり天気を信用しなくなります。折りたたみ傘をいつも持ち歩いたり、曇天ですら晴れと呼んだり。ネガティブになりがちな冬ですが、家に閉じこもってばかりいると、あっという間に冬が終わってしまいます。オリジナルの冬の過ごし方でポジティブに乗り切りましょう。



新大生アンケート

昨年、実際に新潟で冬を過ごした2年生以上の方を対象に実施したアンケートを基に、新大生の冬の過ごし方の実態に迫ります。また、冬のお悩みに関するアドバイスやおすすめ情報等もご紹介します！

今回は2・3年生を中心とし、北は北海道から南は長崎まで、23の道県出身の新大生計123名の方から回答をいただきました。



Q1. 昨年の冬、どう過ごした？



昨年は、大雪に見舞われたということもあるためか、屋外でのウィンタースポーツより、鍋パーティーや室内で冬ごもりをする新大生が多いことがわかりました。

●スタッフのおすすめ● 寒い冬はこたつでのんびり鍋を囲んだり、趣味にいそしんだりするのいいですが、今年の冬は屋外で体を動かしたり、冬でも比較的温暖なところへ旅行を楽しんだりして身も心もホットになってみませんか？新潟は全国的に見てもスキー場が多いので、ランキングで3位に挙げたスキーやスノーボード等のウィンタースポーツを楽しむのもおすすめです！

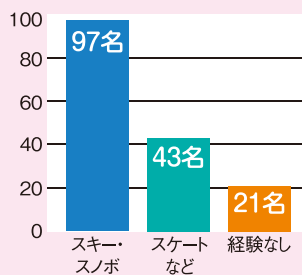


新大生はスキー・スノーボード経験者が多い！

全国的に見てスキー場が多い新潟。ランキングでも3位にあがったウィンタースポーツについてさらに掘り下げて調査してみると、回答者123名のうち、97名という約8割の学生がスキー・スノーボード経験者だということがわかりました。また、新潟県内でウィンタースポーツにおすすめの場所を聞くと、特にニノクススキー場や苗場スキー場、アサヒアレックスアイスアリーナ(スケート場)等が人気のよう。そのほかにも、赤倉観光リゾートスキー場や石打丸山スキー場なども挙げられました。主な理由を見てみると、交通アクセスが良いこと、コースが豊富で初心者や上級者関係なく遊ぶことができること、そして割引があることの3つが挙げられました。大学生でも車などで手軽に行けて、初心者でも楽しめるような場所が好まれる傾向にあるようですね。



やったことがあるウィンタースポーツ



新潟大学生協サービスセンター長谷川卓店長に聞いてみた！新大生の冬の過ごし方とは…

長谷川店長によると、以下に挙げる目的による利用が多いという。

- ★ウィンタースポーツ
- ★国内旅行(北海道、沖縄等)
- ★海外旅行(台湾、ハワイ、シンガポール等)
- ★東京ディズニーリゾート®*

*特に毎年正月明けから2月末にかけて取り扱っている、大学生向けの格安チケット「キャンパスデーパスポート」を利用して行く学生が多い。

サービスセンターの利用実績をうかがうと、スキー・スノーボードなどのウィンタースポーツにおいては新潟県内に限らず県外での利用も多く、また、北海道や沖縄、海外への旅行や東京ディズニーリゾートへの利用も多いことから、新大生の冬はウィンタースポーツだけでなくとどまらず多様化している傾向にあるようです。また、冬が本格化する1月～2月にかけてはちょうど長期休みにあたり、特に卒業旅行という目的で利用する学生も多いのだそう。新大生は比較的暖かい地域で旅行を楽しんだり、あえて冬の寒さを体感するために北海道へ赴いたり等、様々な楽しみ方があるようですね。



Q2. 冬に持っていてよかったものは？

衣料品編

1位 コート等の
上着



2位 あったか
インナー



3位 マフラー等の
防寒グッズ



4位 ブーツ・長靴

5位 部屋着

●スタッフのおすすめ● 新潟の冬は厳しく、重ね着は温かいけど着太りするのも嫌…そんな方におすすめなのは発熱性のあるインナーです！

衣料品部門では、外出の際の防寒対策の重要さを感じるランキングに！第4位の「ブーツ・長靴」は、雪が降ったあとに踏み固められて滑る地面と戦った思い出がある人多数…

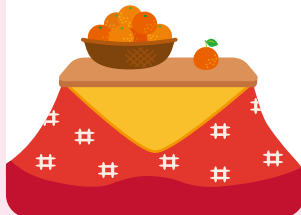


家具・家電編

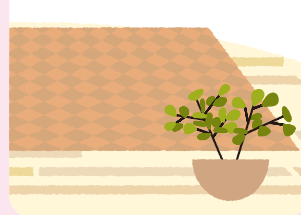
1位 毛布



2位 こたつ



3位 カーペット



4位 電気ヒーター

5位 ホットプレート

6位 卓上カセットコンロ

7位 エアコン

●スタッフのおすすめ● 部屋を温めても、どうしても足元は冷えがち。そんな時は毛足の長いカーペットを敷くと足元の冷えが軽減します。夏物から冬物に変えてみるだけでも違いを感じられますよ。アンケートでも、実際にカーペットがあって良かったという声が多数ありました！

家具・家電部門では、王道かと思われた「こたつ」を抑えて「毛布」が第1位！暖まりつつ、いかに電気代を節約するかという新大生の苦勞が窺えます…。

第5位の「ホットプレート」、第6位の「卓上カセットコンロ」の2つは、鍋パやタコパなどで重宝するため持っているといいですね。



その他

使い捨て
カイロ



雪かき道具



モバイル
バッテリー



etc…

その他のカテゴリーの中で回答数が断トツに高かったのが使い捨てカイロ！気軽に暖をとれる身近なアイテムとして人気が高いようです。冬は寒さでスマホのバッテリーを消費しがちなので、モバイルバッテリーは絶対に手放せないという声もありました。

Q3. 今年の冬に後悔したこと、反省したことは？

冬の反省エピソードと、その関連情報をスタッフがご紹介します！

**寒すぎて水道管が凍結！
お風呂にも入れなくなるし、
対策を調べておけばよかった…**



水道管の凍結は大敵です。すぐにできる対策や、もしもの時の対処法をご紹介します！



- 1 水道メーターから最も遠い水道の蛇口から、少量でよいので水をずっと出す
- 2 水道管が凍結してしまったら、ぬるめのお湯をかけるかタオルをかけた上から少しずつお湯をかけるようにしましょう
※熱湯を一気にかけて水道管が破損してしまう可能性があります…
- 3 万が一水道管が破損してしまったら、まず元栓を閉めて業者にすぐ連絡を！

**コートやブーツ等の
衣料品の備えを
もっとしておくべきだった…**

新潟の冬に防寒は必須！コートの中にも着られる薄手のダウンがあると温かさ倍増でおすすめです。防水スプレー等も活用して雪に立ち向かいましょう…



**窓の結露対策を
しておけばよかった…**

結露の防止には換気、除湿、断熱等、様々な方法があります。結露防止シートや空気を循環させるサーキュレーターといったグッズもおおすすめです。



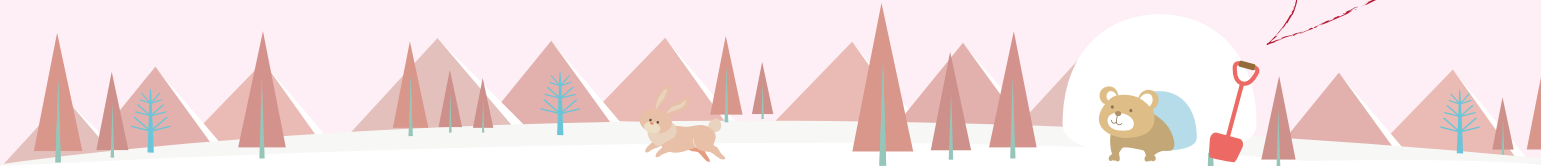
**食料をもっと備蓄しておけば、
大雪の中出かけなくて済んだのにな…**

大雪になると外に出られずにこもりがち…かといって、スーパーは微妙に遠いし、普段大量の買い物をするのも大変ですよ。天気が悪くなる前に、ネットスーパーでまとめ買いをしておくとう便利です！



本特集を作成するにあたり、取材やアンケートにご協力いただいたみなさん、本当にありがとうございました！

特集「にいがた冬講座」いかがでしたか？日本海側の冬の気候は独特なものですが、その特徴をおさえておけば対策もしやすくなるのではないのでしょうか。また、アンケートページに掲載できた先輩の声はほんの一部です。周りの友達や先輩・後輩（もしくは先生とも?）と情報交換をして、ぜひ充実した冬を過ごしてくださいね。



新大 ふしぎ発見

このコーナーでは、新大の知っていきそうで知らないこと、身近にあるけど用途がよく分からないものなど、新大の「ふしぎ」を解明しちゃいます！今回は、第一食堂にある煙突について調査しました！

第一食堂にある煙突



Q あの煙突は何のためにあるのでしょうか？



第一食堂から伸びている煙突。とても背が高く目立ちますよね。あの煙突は一体何？まさかサンタクロースが新大生にプレゼントを届けるため…？施設管理部施設管理課の安達副課長にお話を伺いました。

A. ボイラー室の排気のためです！

実は、第一食堂の地下には中央機械室と呼ばれる施設があります。その中には、五十嵐キャンパスの一部の施設に暖房用の温水を供給するための「ボイラー室」があります。

エアコンがなかった時代、五十嵐キャンパスの各施設の暖房は、ボイラーから供給される温水によって賄われており、その排気のために煙突が作られました。第一食堂が出来た昭和43年からあるんですよ。実は現在も冬期に3基のボイラーが稼働し、教育学部棟や工学部棟の一部などエアコンがない箇所には、ボイラー室から温水を届けています。そのためボイラーが稼働する12月から3月の間には、煙突から白煙が上がるんですよ。

食堂の煙突じゃなかったんだ！



ちなみに温水が流れているため、雪が積もっても、地下にパイプが通っている部分だけは溶けやすいそう。

安達副課長によると、なんと五十嵐キャンパスにはパイプが通る地下通路が!? というわけで、特別に実際に入らせていただきました！

学生史上初!? 五十嵐キャンパス地下通路へ潜入!



地下通路には、水や温水を運ぶパイプだけでなく、電気や通信関係のケーブルも通っていました。1万人以上の学生や職員が活動する五十嵐キャンパスは、「一つの町」とも言える規模。ライフラインである電気や通信関係、水道の設備を管理している中央管理室や設備に何かあっては大学の機能が止まってしまうため、定期的にこの地下通路を通り、点検を行っているそうです。また、この地下通路の換気・排熱の役割を果たす設備がキャンパス内いくつかあるそうで、実は図書館前の駐輪場などで見かける小さな小屋のようなものがその設備なんだそう！

ちなみにこの設備は建物内に隠れている場合もあり、直接見ることが出来る場所は、総合教育研究棟A棟前、図書館前の駐輪場、正門近くの駐車場、大学院自然科学研究科棟の前の4カ所とのこと。



自分の 居場所

Interview!!

—— 学生編 ——

大学生活を送る上で、やりがいや目標をもって活動している、
輝く大学生を紹介するこのコーナー。
今回は第92回国展に作品「佇む少女」が入選した杉崎那朗さん
にお話を伺いました。

つくる、つくる、つくる

教育学部芸術環境創造課程
造形表現コース4年生

杉崎 那朗さん

(スギサキトモロウ)

新潟県新潟市出身。金属を使用した彫刻作品を数多く制作している。制作のために普段から人間観察を行い、歩き方で人の性格がわかるようになった。現在は個展を計画中。



1



2



3

QUESTION

- **新大の好きな場所…キャンパス内のローソン**
バックご飯をよく買います。量も多く、節約にもなるのでお世話になっています。

1「佇む少女」

2作業中の杉崎さん

3作品のもととなるチップ状の鉄

—国展入選おめでとうございます。まず、入選作品「佇む少女」についてお聞きします。この作品の特徴について教えてください。

この作品は、鉄板で作った人体の上にSDカード程の大きさの鉄のチップを張っています。それを上から研磨しピカピカにして、そこからバーナーであぶると青っぽい色が出るのですが、その色が特徴です。また、軽量化のために作品の内部は空洞になっています。

—「佇む少女」の作業工程はどのようなものでしょうか。

まず、土台となる厚い鉄板を切って、小さいチップをたくさん用意します。それを足元から順に人型に積んで形だけを作り、その後表面にチップを貼って凹凸をやすりで研磨します。最初は両腕が上がっていたのですが、作っていく過程で違うなと思っ変更しました。二の腕裏まで作ったのですが一回壊して片手から、とかそういうことはよくありますね。制作期間は実際には4ヶ月ほどでしたが、2018年4月に完成したので出品はぎりぎりでした。

—作品名「佇む少女」の由来は何ですか。

制作時には題名やコンセプトを決めずに作ります。題名は作品を出品する直前まで決めません。会場で作品名を書くのですが、その場で決めて記入しました。今回は同伴してくれた友人に「立っているし、そういう感じでいいんじゃない?」と言われて、「佇む少女」にしよう、と決めました。

—周囲の方の意見を参考にされるんですね。杉崎さんはこれまでも金属を使用した人体の作品を数多く制作されていますが、何かこだわりがあるのでしょうか。

鉄を使い始めたのは大学2年の終わり頃です。それ以前はセロハンテープなどで制作していましたが、耐久性を高めたいと思い鉄を使うことにしました。人体を制作しているのは、人が好きだからです。人体の形は複雑ですが、一番身近なものから作りたいと考えました。さらに、体だけではなく、喜怒哀楽とか生死とかそういう「人」そ

のものに興味があり、人型の作品を制作しています。大学入学の時点で既に人体だけを作っていこうと決めていて、卒業するまでには人体を極めようと思っています。たしか4歳頃、バイオニクルシリーズという人間のような形をした少しグロテスクなレゴで遊んでいて、そこから人体に興味を持ち始めたのではないかと思います。

—もともと美術が得意分野だったのですか。

僕は、美術の成績は万年2でした。ずっとふざけて遊んでいて。でも自分で針金を買ってきて何か作ったりとか、落書きとかは延々としていましたね。それで、中学3年生の国語の授業中、ずっと落書きをしている僕を見た先生が「もし本気で目指すのだったら、私の授業中は描いていてもいいよ」と言ってくださって、そこから、これ許されるんだ、と思いました。でもずっと美術は2でしたね(笑)。現在、中学校や高校の授業で芸術科目が削られていて、しょうがないのかなと思う反面、やっている身からするともう少し注目されてもいいのでは…とも思います。

—制作において意識していることはありますか。

他者からの評価で決まってしまうという世界なので、どうしても承認欲求が出てきてしましますが、そういう欲を出すのはあまり良くないと思うので、謙虚になることを大切にしています。純粹芸術において、誰かに見てもらうために作品を作りだしたら終わりだと思っていて、そういった欲求との戦いだと思っています。作品ではなく、自分はゴミを作っているのだという意識で、修行のように制作しています。あくまで「つくる」ということが目的です。

—これまでも数々の賞を受賞されていますが、反響はいかがですか。

「慈悲」という作品で第46回新潟県芸術美術展連盟大賞を受賞した際に、新聞などに掲載されて、そこから多くの方に知っていただけるようになりました。美術の世界は狭く、僕のような若手はどうしても目

に付くようで、そこから新潟県内ではそこそこ名が通っている状況での国展入賞だったので、先生方からの評価は高かったですね。逆に批判の意見があまり貰えないので、批判してくれる相手が欲しいなと思います。彫刻という世界では世代も環境も限られるので、どうしても「若いから頑張ってね」というスタンスになってしまっ…。

—それでは、作品を出品することは彫刻作品を一般の人に知ってもらふ意図も含まれているんですね。

もちろんそうです。自分のような人がいれば、後にも続きやすくだらうとも思います。また、芸術の環境ってすごく閉鎖的で、神格化されていて、価値観も理解されにくく、そういう中で作っていると、何かを享受しているようになってしまうのです。価値観についても、芸術だから許されるというところも結構あって、そこが良くないと感じています。僕のような者が前に出て、制作して、芸術の価値観の暴走に対して何かアクションをしていかないと、芸術が圧迫され、最終的に消えてしまうと思っているので、少しでも注目を浴びることが出来たらなと思っています。内部から壊していくほかないのではという感覚です。

—今後の目標を教えてください。

大学院に進学して、制作を続けていきたいと考えています。もしくは鉄鋼系の会社に就職しながら、制作を続けていきたいです。やはり彫刻一本で食べていくのは難しいのが現状ですね。また、今後個展をするつもりなので、そちらの計画も進めていきます。

—最後に、新大生へメッセージをお願いします。

「好きなことをする」、すごく響きがいいですが、しかし欲に忠実に行動しているだけ、という意識をもってほしいですね。とくに芸術は成功される方はほとんどいない、厳しい世界です。淘汰されて、肥やしになってしまう方がほとんどです。その中で形作られている環境なので、現実をしっかりと見ることが大切だと思います。

インタビューを終えてスタッフの感想

実際に「佇む少女」を拝見し、小さな鉄の集合体であることに驚きました! 現代の芸術に関する思いを真剣に語ってくださり、もっと知りたくなりました。私も「常に謙虚でいる」姿勢を大切にしていきたいです。

自分の Interview!! 居場所

— O B ・ O G 編 —

将来どんなことをしたいか迷っている新大生に向けて、
社会で活躍する卒業生から話を聞き紹介するこのコーナー。
今回は、新潟大学人文学部卒業生であり、
現在、株式会社タカヨシでWEBディレクターとして活躍する
松永笑子さんにお話を伺いました。

仕事は、一人ではなく 皆で一緒にやっていくもの

松永 笑子さん

(マツナガ エミコ)

平成27年3月に新潟大学
人文学部メディア・表現文
化学プログラムを卒業。

現在は、株式会社タカヨシ
本社の新潟企画制作課に
所属し、WEBディレクター
として活躍中。



1



2

1 仕事の様子。デザイナーと企画について
相談中。

2 大学時代の1枚。DJ・DTMサークルカテドラ
ルや古町のライブハウスでDJをしていました。

QUESTION

● 新大の好きな場所…西門

友達と待ち合せたり、新入生をサークルに勧誘
したりと、ワクワクしながら人を待っていました。

株式会社タカヨシ

大正9年創業。紙袋や箱などの紙器加工業から始まり、印刷業へと変化する。現在は「モノ売りからコト売り、モノづくりからコトづくりへ」を経営方針として、従来の印刷業務に加え、イベントブース、WEB、ブランド制作などによる販売促進企画や人材採用企画、さらに緩衝材などの物流資材販売など、お客様である企業の事業運営を幅広く支援するサービスを提供している。新潟のご当地キャラ「レルヒさん[®]」も同社の企画。

—現在の仕事内容を教えてください。

WEBサイトの制作の進行管理がメインです。デザインやプログラム作りといった実際の制作については別のスタッフが行うのですが、私はお客様がどんなWEBサイトを作りたいのか、しっかりと打ち合わせをしてイメージを固めたり、打ち合わせを元にラフを作りデザイナーに手配したり、制作スケジュールの決定をしたり、という仕事を担当しています。

—タカヨシへ就職した理由を教えてください。

大学3年生の夏に参加したインターンシップがきっかけです。自分が学生時代にやってきた勉強の内容を活かし、モノづくりができるようなところに就職したいと考えていました。インターンシップのプログラムでは、印刷物の原稿作りやアイデア出しなど実際の業務を体験でき、楽しいと感じました。また、上下関係なく和気あいあいとした社内の雰囲気を見て、ここでなら安心して働けそうだなと思ったのもあります。

—仕事を通じて学んだことはありますか。

一人で考えすぎない、ということですね。学生時代には、仕事でミスをするとうすからすごく怒られたり、皆から責められたりするのではないかと、というイメージがありました。しかし、実際にはミスをしてしまったときは、上司に相談するとどんなことでもしっかりアドバイスがもらえるし、また、困っている人がいたら、どうやったらいいか自分も一緒に考えてお互いに助けあうことが大切だと分かりました。

—仕事をしていて、やりがいを感じる瞬間はどんな時ですか。

自分たちの作った制作物を通してお客様の成功につながったり、制作物への感想が聞けたりするときが一番嬉しいですね。作業的には、お客様から聞いた内容を基に、どんなものを作ろうかなとラフを書いていく仕事ですごく楽しいです。

—仕事をするうえで気を付けていることは何ですか。

報告・連絡・相談を必ず、すぐするということです。仕事を進める際は、上司に確認が必要なことや、営業担当の人と連携してやっていくことも多いため、トラブルが起こった時だけではなく日頃から徹底しています。

—一次に学生時代のことについてお伺いします。どんな大学生活を送られていたか。

大学では人文学部のメディア専攻で二つのゼミに入っていました。一つは広告の分析をするゼミでした。実際の企業広告などを見ながら、そこにどのようなメッセージ性が込められているのかをみんなで文献を読みながら考えていたり、伝えたいメッセージや内容を考えて実際に自分たちでタミーの広告を作ったりしていました。もう一つのゼミでは、マンガ、アニメ、音楽など各々が好きなサブカルチャーに込められたメッセージや表現を分析していました。また、サークルにもいくつか入っていました。アコースティック音楽サークルのCRESCENDOでトランペットを吹いたり、カテドラルというサークルでDJをやったりと音楽漬けでしたね。

—ゼミでもサークルでも、様々な活動をされていたんですね。そうした学生時代の経験で今の仕事に一番つながっていると思うことは何ですか。

直接的にはゼミの勉強が一番仕事につながっていると思います。例えば「パンフレットのデザインを新しくしたい」と言われたときに、何を課題にしている、新しいデザインでどんなことを表現したいのかを聞き出して、それを分析しつつ、新しいものを作り上げていくという作業がありません。所属していたどちらのゼミでも、自分の意見やモノの作り手の表現していることを分析していくという過程がありました。ある物事に対してちゃんといろいろ考えてみるということは今の仕事に活きていると思います。

また、音楽もやっていたよかったと思います。社会人になった今も、趣味で様々なライブに行っています。音楽は仕事とプライベートのオンとオフの切り替えに役立っており、生活の大きな支えになっています。

—最後に、新大生へメッセージをお願いします。

勉強、部活、サークル、アルバイトは大学生にとってどれも大事で、どれも頑張っていることだろうと思います。時間の使い方は自由ですが、学生時代は時間を使って自分の好きなこと、やりたいことをできる一番のチャンスだと思います。興味のあること、やってみたいと思ったこと、行ってみたいと思ったところへは絶対に行ってみようがいいですし、やってみようがいいと思います。後悔の無いように過ごすことが一番大事だと思います。

インタビューを終えて スタッフの感想

どの質問にもよどみなく回答をしてくださり、自分の意見をしっかりと持っている方だと感じました。学生時代に学んだ経験を仕事で活かしていることもあってか、楽しそうに仕事のお話をされていたのが印象深かったです。クリエイティブな業種ですが、報告・連絡・相談など他の仕事と同じく基本的なことが大切だという話はとても参考になりました。

教えて!あなたのゼミ・研究室

総合大学である新潟大学にはさまざまなゼミ・研究室があります。

このコーナーでは数あるゼミ・研究室の中から1つにスポットを当て、先生・学生から魅力を聞き出しちゃいます!

今回は工学部 工学科 建築学プログラム 松井研究室にお話を伺いました。

工学部 工学科 建築学プログラム 松井研究室

こんなことを学んでいます

都市計画という研究室で、歴史的な建造物や町並みを保全・再生するための法制度の調査や、空き家の再生、実際の町並みの特徴探し等、多岐にわたる研究をしています。ベースは歴史的な景観の保全についての研究になります。都市計画に関する研究は実際の社会に対してアプローチするので、各地で学んだことを社会に還元することを大切にしています。

研究を社会に活かすプロジェクト活動

研究してきたことを社会に活かす場として、様々な場所でプロジェクトを行っています。プロジェクトでは地域の課題に応じて我々が地域に貢献できることは何かを考えています。例えば、富山県南砺市の城端では、歴史的な町並みが空き家化することによってその町並みが壊されてしまうため、それを守るためにはどうしたら良いか調査を行っています。新潟市の下町では、景観のルールがなかったため、学生と一緒に地元の人と話し合いながらルールを作っています。学生と一緒に活動するのがプロジェクトの特徴で、学生がチャレンジしたいことを一緒に考えながら進めています。



松井 大輔助教
マツイ ダイスケ

研究室生に聞いた

先生・研究室のここが魅力!

- ・松井先生はいつも学生の話をもっと詳しく聞いてくれて、相談にも乗ってくれて、優しい
- ・みんなで議論し、話し合いながら研究内容を進めている
- ・都市計画プロジェクトで県内外いろいろな場所に行ける
- ・プロジェクトに携わって、実際に自分のしたことが地域に活かされたときは達成感を感じる
- ・地域の方と接することで社会勉強になる



松井先生が求める学生像

忙しい研究やプロジェクト活動も自分の経験になるという思いを持ち、その中楽しさを見出してくれる姿勢があればいいと思っています。

研究やプロジェクトで地域に行くと学生は一人の社会人として見られます。勉強のためにやられているという感覚ではその地域の方々に失礼になります。自分たちで主体的に考え、積極的に動き、なおかつ様々な人たちと触れる機会を大切にしたいと思っていますね。

スタッフの感想

都市計画についての研究のお話を聞いて、その地域のことを真剣に考え取り組んでいることが伝わってきました。また、松井先生がとても明るく雰囲気の良い研究室でした。学生の方々もインタビューしている際に仲の良さがとてもよく伝わってきました。

このコーナーは、新大広報学生編集スタッフが新大の部活・サークル活動を体験し作成した、チャレンジ魂あふれるレポートである!!
今回は合気道部へ突撃!! しなやかに技をかける!

Report

合気道部

合気道初体験! ということで、技の中でも、簡単な技を教えてくださいました!

※編集スタッフは部員の指導のもと安全に配慮して行っていますので、真似はしないでください。

技1 片手取る四方投げ



1 相手の手首をしっかりとって...



2 相手の腕の下をぐり...

持っている手を下に降ろす!!



3

技2 正面打ち一教



1 左腕をしっかりともち...



2 そのまま相手を押し返し...

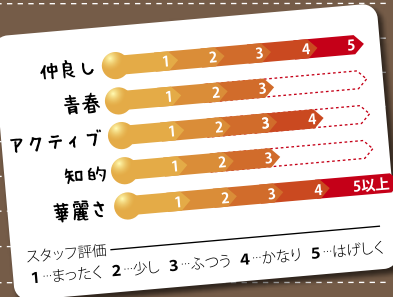


腕を床に固定!!

3

スタッフ感想

合気道は聞いたことはあっても、実際どのような事をするのか想像もできませんでしたが、実際やってみると様々な技があり、その一つひとつを組み合わせている競技なのだと感じました。実際、一つの技にチャレンジしても、その技を習得するのにとても苦労しました。体全体を使うので足の置き場や、手の使い方に気を使います。その中で部員の皆さんがスムーズに技を繰り出しているのを見て、改めて部員の皆さんの凄さが分かりました。それでも、部員の方にしっかり教えていただき、とても楽しく体験できました!



Interview

Q 活動日と活動場所、部員数を教えてください。

毎週月曜日、水曜日、金曜日に行っています。基本の稽古は、4月から7月の中旬まで行う前期練習と10月の初めから12月の中旬までの後期練習があります。基本の稽古が無い期間は自主練習を行っています。活動場所は第一体育館の武道場で、部員数は24人です。



●理学部2年
吉川裕貴さん
ヨシカワヒロキ



●法学部2年
飯森真子さん
イイモリマコ

Q 試合等はありませんか?

吉川●合気道には「競う」という概念が無く、「演舞」というものがあります。演舞は前期練習と後期練習の最終日に大学内で行うものや、全国の大学生や全競技者で行うもの等があります。

飯森●演舞は、普段練習している技をそれぞれが自由に披露する場です。普段の練習でも演舞を意識した練習も行っています。演舞の他にも「審査」と呼ばれるものもあります。新潟大学では卒業するまでに初段を取得する人が多いです。

Q 入部したきっかけは何ですか?

吉川●見学に行った際に、先輩が優しく、練習終了後の雰囲気も良く、メリハリがあると感じたからです。まさに部のスローガンでもある「和気あいあい」を体現していると思います。他にも、体の使い方が理解できるので、怪我を防げると思いました。

飯森●警察官になる事が夢だったので、何か武道を始めてみたいと思ったのがきっかけです。他にも候補はあったのですが、部の雰囲気が良かったのと、見学の際に見た先輩の姿勢がカッコよくて早い段階で入部を決めました。

Q 大学から始める人が多いのですか?

吉川●ほとんどの人が大学から始めます。社会人の方でも、大学から始めたという人が多いです。私は高校時代、山岳部でした。

飯森●皆同じスタートラインから始めるので、差もつきにくいと思います。文化系の部活だった人もいます。私は高校では卓球部に所属していました。

Q 最後にこれからの抱負をお願いします。

吉川●まだ、技を練習したりかけたりする際に固さがあるので、もっと身軽になれるようにしたいです。また、来年からは教える立場にもなるので、技を覚えていきたいと思っています。審査については現在2級を取得しているので、次は1級に挑戦したいと思います。

飯森●まずは審査で1級を取りたいです。3年生までに初段を取得するという目標があるので、それに向けて練習していきたいと思っています。そのためには誰が見ても「初段の実力がある」と思えるような実力をつけていきたいです。来年からは、先輩に教えるので、説明に一貫性が生まれるように色々な先輩に教えてもらいながら研究を深め、「自分の合気道」を確立していきたいです。



合気道部Twitter @niigatauaikidou



※delikatesse(独)=美味しいもの

ひとりdeliのコーナーでは、多忙な毎日を送る新大生へのお手軽レシピを紹介し、食に関するお悩みを解決しちゃいます。
今回は寒い冬を乗り切るために栄養をつけることができる煮込みうどんのレシピを紹介します。煮込みうどんは手軽にたくさんの野菜をおいしく食べられて、体がほかほかになりますよ♪



野菜たっぷり 味噌煮込みうどん



野菜たっぷり味噌煮込みうどん

材料(1人分)

- 鶏もも肉…50g
- 白ネギ…1/3本(30g)
- 白菜…1と1/2枚(150g)
- 小松菜…1本(50g)
- しめじ…1/2パック(50g)
- うどん…1玉(245g)
- 卵…1個(60g)
- 水…450ml
- 顆粒ダシ…小さじ2.5
- 味噌…大さじ1.5



- 1 具材は全て食べやすい大きさに切っておく。
- 2 鍋に水を入れ、顆粒ダシを溶かし沸騰させる。
- 3 沸騰したら一度火を止めて、味噌を溶かし入れ、再び火をつける。
- 4 うどんを入れ、その上に①と卵を乗せたら蓋をし、全ての具材に火が通るまで弱めの中火で煮込んだら完成♪一味や七味を入れると良いアクセントになります。

Point! 手順4の際、大きめに切った白菜を下に敷くと、うどんが焦げにくくなるのでおすすめです。



コラム1

新潟の小松菜

小松菜はホウレンソウとは異なり、あく抜きの下茹で無しで食べられます。クセの少ない味で、どんな料理にも合わせやすい野菜です。小松菜は品種改良が盛んに行われており、その数は40種類以上にものぼります。地域によって様々な品種があり、新潟市中央区では、明治時代中頃から「女池菜」が栽培されています。「女池菜」は、冬から春にかけてが旬です。葉や茎に雪が積もると、凍結を防ごうと内部のデンプンが糖に変わり、春に伸びてくる若い茎の部分に甘みが出るのが特徴です。地域によって、呼び方も味わいも異なる小松菜。色々な地域の小松菜を食べてみたいですね。



コラム2

うどんは風邪におすすめ!

うどんは非常に消化の良い食品で、元気な時はもちろん風邪などで体調を崩したときや食欲の無い時に温かいうどんは特におすすめです。風邪の際に「消化の良い食事」を食べることで、食べ物や胃にとどまっている時間が少なく、胃への負担が減少します。特にうどんの原料は小麦粉と塩でそのほとんどが炭水化物(糖質)のためたんぱく質に比べて消化が早く、あまり負担がかかりません。負担が少なれば胃に集中する血液の分が、体内に回り血液に含まれる白血球がウイルスと戦うことができます。





編集室便り

不定期掲載でお届けしているこのコーナー。今回は新たに加わった学生スタッフを紹介します。

新 木

スタッフ紹介

ますます、個性豊かなメンバーで作る新大広報を
よろしくお祈いします。

- ① スタッフになったきっかけ
- ② 最近ハマっていること
- ③ 他の所属団体
- ④ 新大広報への意気込みと読者への一言コメント

① 学務から送られてきたガイダンスのお知らせメールを見て、おもしろそうだったのと、広報という仕事に元々興味があったからです。

② カメラを持って出かけること。自分がいいなと思ったものを、いかに上手く切り取れるかを考えながら撮っています。新大広報でもカメラ担当になることがあるので、趣味を活かせるようになったらいいなと思っています。

③ 吹奏楽部でサクソを吹いています。

④ 取材をしていると、自分が今まで知る機会もなかったようなことに触れる機会が多くありますが、その体験が読んでる人に伝わるような記事を作成したいと思っています。また、新大広報をもっと多くの新大生が読んでくれるように魅力的な内容を考え、PRもこれまでに以上になりたいと思います。



法学部2年
目黒 恵梨 ERI MEGURO

① たまたまもらったピラを見て気になったからです。そして、普段は気づけない新大の魅力が発見できると思ったからです。

② お笑い鑑賞。いつか本場の大阪まで見に行きたい。

③ Droppers(バスケ)

④ 皆さんがまだ知らない新大のおもしろさを伝えられたらと思います！ぜひ手に取ってみてください。



経済学部3年
岩城 理沙 RISA IWAKI

① 新しい事を始めてみたかった & インタビューを通して「質問力」を磨きたいと思ったから。

② 字幕版の洋画鑑賞

③ Niigata選挙カレッジ

④ 精一杯取り組んで行きたいと思います！よろしくお祈いします！



法学部2年
福原 琢未 TAKUMI FUKUHARA

① 新学期になり学校生活にも慣れてきたので、何か新しいことを始めようと思ったからです。

② 写真を撮るのにはまっています。この前初めて一眼レフで撮ったのですが、少しの工夫で写りが綺麗になるのが面白いです！

③ 表千家茶道部と、ブルコギという韓国語サークルに所属しています。どちらも入ったばかりです...

④ 主にひとりdeliを担当しています。皆さんに、一人暮らしに最適な簡単&美味しいレシピを紹介していけるように頑張ります。よろしくお祈いします！



文学部2年
高橋 映華 HANA TAKAHASHI

① 新大広報のスタッフを募集するメールです。

② おいしいものを食べに行くことです。

③ 硬式テニス部

④ 次号も読みたい!と思ってもらえるような広報誌を作れるように頑張ります。今後もぜひ新大広報を手にとり取っていただけたら嬉しいです。



医学部1年
関根 梓 AZUSA SEKINE

① 新大広報にいい風を吹かせたいと思ったから。

② 旅に出ること!最近ヒッチハイクを始めました。日本のみならず世界にも出てみたい!

③ 無所属です。

④ いろんな記事に関わりたい!読者の皆さんに有益な情報を発信していきます。



工学部1年
鈴木 蒼生 AOI SUZUKI

① スタッフ募集のメールです。

② バラエティ番組のDVDを見て笑うことです。

③ 鉄道研究部 & 将棋部

④ 皆さんが楽しいと思っただけのような記事を提供していきたいと思います。これからもご愛読よろしくお祈いします!



創生学部1年
鈴木 悠希 YUKI SUZUKI

大学からのお知らせ

年 末 年 始 の 諸 注 意

年末年始にかけて、忘年会や新年会など飲酒を伴う機会が増える時期です。未成年者の飲酒や飲酒の強要、イッキ飲みなどの危険行為は絶対にしてはいけません。また、休暇中の気の緩みから、思いがけない事故や事件に巻き込まれる危険性があります。休暇中も、新潟大学の学生であるという自覚を持ち、責任ある行動を心がけましょう。万が一、事故等に遭った場合は、速やかに所属する学部等の学務係へ連絡してください。ただし、夜間、土日祝日及び12月29日～1月3日は守衛室(Tel: 025-262-6028)に連絡してください。



特集 いがた冬講座

本田先生は私たちのために新潟の気象についてたくさんの資料を用意して迎えてくださいました。新潟の天気には振り回されがちですが、先生は気象のデパートと表現し、新潟の天気を丸ごと愛しているように感じました。

新大ふしぎ発見

取材で地下道を特別に案内していただきました。たくさんのパイプが通っている地下道を、酸素濃度計を確認しながらの取材は、まるで冒険家になった気分でした。



Interview!! 自分の居場所

OB・OG編
日頃より様々なメディアの制作を手掛けている株式会社タカヨシ。取材に行った際も、メイクさんが付いていたり、写真を撮る際の光の当たり方を一緒に考えてくださったりと、編集のプロのお仕事を肌で感じました。

大学からのお知らせ

新潟大学公式SNSアカウント

Follow me!



Twitter

大学の日常やイベントを日々ツイート♪

@Niigata_Univ_O



Instagram

フォトジェニックな画像で大学の新たな魅力を紹介!

@niigata_university



Facebook

大学の取り組みや学生の活動を紹介!

@niigata.univ



スタッフ募集!!

私たちと一緒に新大広報を作りませんか!?

新大広報では随時、学生編集スタッフを募集しています。企画から、取材、記事の作成、編集まで学生が主体となって活動しています。

応募方法 下記のメールアドレス宛てに①学部・学年・学籍番号・氏名、②「学生スタッフ希望」と書いて送信してください。

新大広報編集室：nu-press@adm.niigata-u.ac.jp

編集後記

今号の特集は、昨年の大雪を受けて新潟の冬の特徴と雪への対策を知ってもらい、そのうえで新大生ならではの冬の楽しみ方を知ってもらおうと企画しました。今年新潟で初めて冬を過ごす1年生だけでなく、2年生以上の学生たちにも役立つ、新たな冬の楽しみ方を知ってもらえるような記事を目指して作成したので、ぜひ目を通してみてください! 新大広報編集長 川名 裕子

【学生編集スタッフ】

川名 裕子 (法学部3年)
嶋田 麻美 (法学部3年)
光安 悠香 (法学部3年)
竹澤 梨夏 (法学部3年)

片山 紗希 (文学部3年)
井田 瑞伽 (教育学部3年)
岩城 理沙 (経済学部3年)
田村虎ノ介 (理学部2年)
山田 拓海 (理学部2年)

川向 永海 (創生学部2年)
目黒 恵梨 (法学部2年)
高橋 映華 (文学部2年)
福原 琢未 (法学部2年)
関根 梓 (医学部1年)

鈴木 悠希 (創生学部1年)
鈴木 蒼生 (工学部1年)

【職員スタッフ】

石栗 慎也 (学生支援課)
菅原瑠璃香 (学生支援課)
鈴木 香織 (広報室)

個人情報の取り扱いについて ■新大広報では皆様からお預かりした個人情報につきまして、責任をもって管理することをお約束いたします。■アンケートや誌面へのご意見、掲載希望他、お預かりした個人情報は新大広報の企画の参考にさせていただきます。この目的以外に使用したり、第三者に提供したりいたしません。■ご記入いただいた個人情報に変更が生じた場合は速やかに上記アドレスまでご連絡ください。また、同アドレスにご連絡いただくことにより、ご本人に限り個人情報の開示・削除・訂正をもとめることができます。

【新大広報 Back Number】

新大広報

検索

新大広報のバックナンバーは新潟大学ホームページで公開しています。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。



新潟大学ホームページ

<https://www.niigata-u.ac.jp/>

2018年冬号 [No.209]

2018年12月発行

編集・発行 / 『新大広報』学生編集スタッフ

新潟大学学務部・新潟大学広報室

印刷 / (株)第一印刷所

